

多方向性テレビ電話コミュニケーションによる、 過疎地居住の独居老人のメンタルケア・システム開発

Development of a Mental Care System for Solitary Old People in Depopulated Areas Using Multidirectional Videophone Communications

河野伸造*・稲木康一郎**・前川道博***

Shinzo Kono Kouichirou Inaki Michihiro Maekawa

I 目的

高齢者は、多くの方が身体に不自由を抱え、不安、孤独感さらにうつ状態になりやすい。今日の日本において、福祉・医療の領域において対応が取り残された最大の分野の一つにはメンタル（心身、精神）面である。メンタル障害には多くの要因が複雑に絡み合っており、その解決はきわめて困難であるが、その予防・対応方法の基本はコミュニケーションである。

超高齢化社会が15年後位に到来する日本において、高齢者に対する福祉並びに医療の環境は、財政面、サービス面で一層厳しくなることが予測され、これまでの福祉、医療の政策あるいはシステムでは解決できない大きな問題が社会的に突きつけられている。

そこで、われわれの研究プロジェクトはその解決策の一つとして、福祉領域でも先進的なメディアを取り入れて効率よくケアをおこなうパイロット研究（第一相）として「テレビ電話コミュニケーションによるメンタルケア・システム」をこれまで進め、その有効性を実証してきた。

このようなパイロット研究を基に、本研究では第二相の研究として、老人福祉施設を中心にクライアント或いは友人間においていずれの方向にも

電話できる“多方向性テレビ電話コミュニケーション・システム”を長期間にわたり山間の豪雪の過疎地で、その実用化を目的としておこなった。

II 調査地の環境

長野県水内郡栄村に住む一人住まいの老人（独居老人）3人を対象とした。

栄村は長野県の北部に位置し、新潟県と境にあり、農業、林業さらに観光を主要産業とする山村である。同村の人口は、平成20年10月1日現在で2,387人（男性1,136人、女性1,251人）であるが、65歳以上の高齢者は1,074人（男性427人、女性647人）で44.9%（男性37.6%、女性51.7%）で高齢化が著しく進んでいる。なお、独居老人の比率は22.8%（男性4.8%、女性18.0%）である。

村内には福祉施設は、老人ホームが2施設（定員100人）、特別養護老人ホームが8施設（定員563人）ある（表1）。

栄村は急な坂道が多く、長野県の中でも最も豪雪地域であるので、冬場には交通機関が閉ざされて、施設のデイサービスを利用するクライアントの送迎ができなくなることも時々ある。さらに積雪の多い年には家屋が押しつぶされるのではないかと不安になることが、特に独居老人にはある。

*社会福祉学部教授（2009.3.退職）

**社会福祉学部准教授

***企業情報学部准教授

表1 栄村の高齢者の現状（平成20年10月1日現在）

(1) 人口・高齢化の状況

| | 住民基本台帳数字（世帯数935） | | |
|---|------------------|-------|--------|
| | 人口 | 65歳以上 | 高齢化比率 |
| 男 | 1,136 | 427 | 37.59% |
| 女 | 1,251 | 647 | 51.27% |
| 計 | 2,387 | 1,074 | 44.99% |

(2) ヘルパー派遣世帯数

| 世帯数 | 世帯比率 | 常勤ヘルパー数 |
|----------|-------|---------|
| 20 | 2.14% | 2 |
| げたばきヘルパー | | 114 |

(3) 一人暮らし高齢者数

| | 年齢別構成（歳） | | | | | | | 世帯比率 |
|---|----------|-------|-------|-------|-------|------|-----|--------|
| | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90以上 | 合計 | |
| 男 | 5 | 7 | 13 | 9 | 7 | 4 | 45 | 4.81% |
| 女 | 9 | 21 | 33 | 44 | 34 | 27 | 168 | 17.97% |
| 計 | 14 | 28 | 46 | 53 | 41 | 31 | 213 | 22.78% |

(4) 寝たきり高齢者数

| | 年齢別構成（歳） | | | | | | | 世帯比率 |
|---|----------|-------|-------|-------|-------|------|----|-------|
| | 65～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90以上 | 合計 | |
| 男 | | | 2 | 1 | 1 | | 4 | 0.43% |
| 女 | | | | 1 | 2 | 1 | 4 | 0.43% |
| 計 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 8 | 0.86% |

(5) 二人暮らし高齢者世帯数 (6) 認知症対応型共同生活介護グループホーム

| 世帯数 | 世帯比率 | (少人数による共同生活を営むのに支障のない方) | 2 |
|-----|--------|-------------------------|---|
| 182 | 19.47% | | |

Ⅲ 調査方法（対象者の選択、テレビ電話の敷設・掛け方、調査項目など）

研究のフィールドは第一相の研究に引き続き栄村とし、研究の対象になってもらう方の選択は老人福祉施設に依頼した。なお、対象者の方には研究の趣旨並びに計画書をあらかじめ提示・説明し、研究参加の同意を得た。

以下の記す対象Bは、第一相研究から引き続き第二相研究に参加してもらった方であるが、第二相研究が始まるまでにはこれまで同様に、施設との間で自由にテレビ電話によるコミュニケーションをしてもらった。第二相研究に新たに加わってもらったのは対象AとCである。なお、両対象宅にはテレビ電話を有線放送網と連結・設置し、平成21年1月より3月中旬まで、第二相研究

をおこなった。

テレビ電話は高齢者でも掛けやすいように短縮番号にセットした。コミュニケーションの仕方は、施設の対応者（福祉士）が隔日、朝夕2回決まった時間（9時、17時頃）に電話を対象者に掛け、挨拶、健康状態のほか一日の予定やどのように過ごしたか聞いた。なお、対応者はテレビ電話をかけている間は、われわれが作成した評価基準に基づきメンタルケア（顔の表情、会話行動などを分析するとともに、精神的に支援する）をおこなった（参考資料1）。

そのほかに、クライアントが困ったことがあった時や健康のことを聞きたい時には、何時でも施設に電話を掛けてもよく、また友達である対象者同士が何時でも電話してもよいようにした。

なお、下記の事項について調査した。

1. テレビ電話に対する評価

対象者と福祉施設の対応者に、テレビ電話に対する評価（参考資料2）を記入してもらった。

2. 知能評価

一般的に使用されている長谷川簡易知能評価法（参考資料3）によりおこなった。

3. うつ状態評価

ツングのうつ評価法（参考資料4）によりおこなった。

4. “生きがい”調査

われわれが作成した“生きがい”調査用紙（参考資料5）により調査した。

IV 対象者の背景

対象者の背景は以下の通りである。

対象 A

84歳、若い時は農業をしていた。

既往歴；特にない。現在の健康状態；ほぼ健康で、いきいき教室に月一回通っている。また週一回病院を受診している。

趣味；裁縫。

家族状況；子供は3人である。8年前より独居状態で、近くに住む娘さんが週一回来訪している。

現在の生活状況；年金生活で、今は隣人との付き合いはない。

長谷川式簡易知能評価；18点、“生きがい”スコア；23点、ツングのうつスコア；34点である。

対象 B

84歳、若い時は農業をしていた。

既往歴；特にない。現在の健康状態；ほぼ健康で、いきいき教室に月一回通っている。また腰痛があり週一回病院を受診している。

趣味；裁縫。明るく穏やかな性格である。

家族状況；子供は3人である。11年前より独居状態で、子供さんが週一回来訪するか、連絡を常にとっている。

現在の生活状況；年金生活で、隣人と一日一回はお茶を飲みながら話をしている。

長谷川式簡易知能評価；27点、“生きがい”スコア；23点、ツングのうつスコア；31点である。

対象 C

85歳、若い時は農業をしていた。

既往歴；特にない。現在の健康状態；ほぼ健康である。

現在の生活状況；隣人と付き合っている。

長谷川式簡易知能評価；23点、“生きがい”スコア；23点、ツングのうつスコア；36点である。

V 結果

1. テレビ電話に対する評価

施設の対応者（福祉士）は次のような評価をした。

1) 映し出された映像について

鮮明であるが、動作がややぎこちなく見られる。なお、一般のテレビ電話と比較して、目・頬・口などの顔の表情は分かりやすく、また会話行動は直におこなっているのと変わらないが、他の身体や行動はやや分かり難いという評価であった。

なお、映像のない普通の電話に比べれば、映し出された顔の表情で気持ちがわかり、直の面談とほとんど変わらないと高く評価されていた。

2) 利用状況について

話題としては、対象者自身の生活のこと並びに健康のことが中心であり、家族、友人、地域のこと、社会のできごとについては少なかった。

ただ生活面だけでなく、体調・健康のこと並びにメンタルのケアをおこなうのに良いとの評価であった。

3) 経費面について

テレビ電話本体代の15万円並びに敷設費8,000円は高いが、毎月の維持費3,000円は手頃である。経費は総体的にやや高いと評価されていた。

4) 活用できる対象：地域と高齢者について

対象の地域としては、今回調査した栄村のような過疎地で、冬場は豪雪の農山村では必要であり、また対象者としては、メンタルケアの必要な高齢者、身体障害者（施設に週一回の通所が困難な高齢者）、独居老人や老々夫婦に活用されることが挙げられている。なお、施設と対象者間では一日2回位対話できればよいと回答されていた。

なお、テレビ電話を普及するための最大の問題

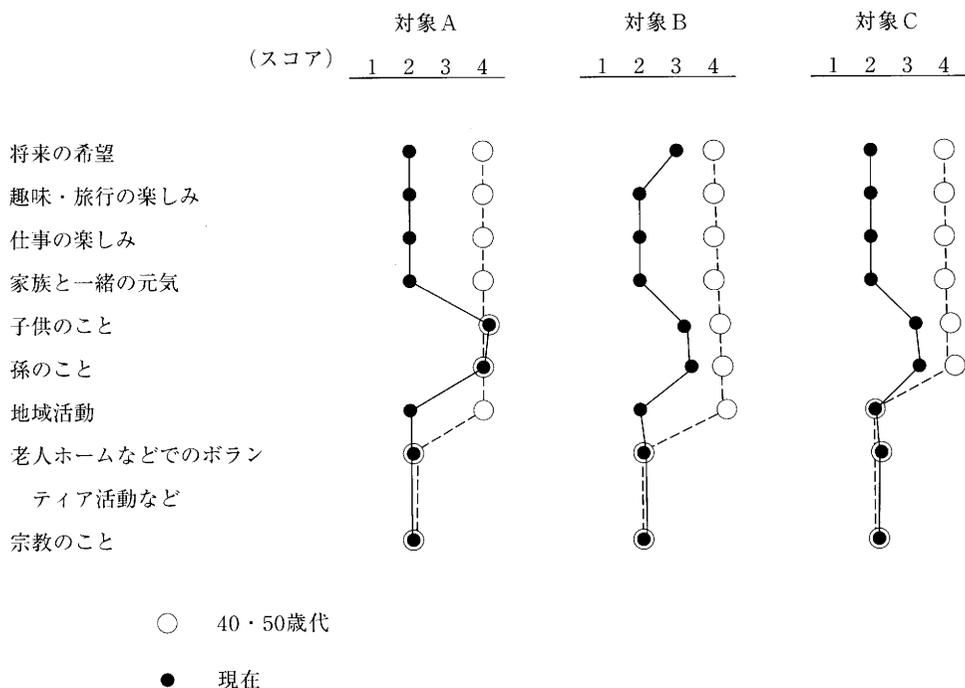


図1 “生きがい” 調査

は経費面であるので、交通が不便で、身体障害あるいは独居老人に対する国或いは自治体の補助が必要であるとされていた。

2. 施設の対応者からみた、テレビ電話に対する対象者の反応

各設問に対する解答は、以下の通りである。

- 1) テレビ電話に映るのを嫌がっているか
「時にあるもの」2人、「ほとんどない」1人であった。
- 2) どういう時に映るのを嫌がっているか
「何か用事がある時」1人であった。
- 3) 社会性（対応の状態）は、テレビ電話でコミュニケーションを繰り返して高まったか
「やや高まった」2人、「変わらない」1人であった。
- 4) テレビ電話をかけている時の表情（明るさ）が良くなったか
「非常によくなくなった」、「やや良くなった」、「変わらない」がそれぞれ1人であった。

3. ツングの評価法によるうつ調査

対象Aの総点は34点で、何となく「疲れやすい」を除く身体・精神面の項目は問題ないが、「将来の希望」、「物事の決断」、「現在の生活の満足感」、「役立つ人間」の項目において評価が低かった。

対象Bの総点は31点で、身体・精神面の項目は問題ないが、「将来の希望」、「物事の決断」、「現在の生活の満足感」、「役立つ人間」の項目において評価が低かった。

対象Cの総点は33点で、身体・精神面の項目は問題ないが、「将来の希望」、「物事の決断」、「現在の生活の満足感」、「役立つ人間」の項目において評価が低かった。

4. “生きがい” 調査

対象者3人の現在の基礎条件は、下記のように全く同じであった。

- 1) 安住の自分の家がある。
- 2) 夫；他界している。
- 3) 心から理解し合える相手がいる。
- 4) 確かな頼れる人がある。
- 5) 健康状態（心身とも）；ほぼそうである

(4段階中3段階の評価)。

- 6) 経済的な不安(年金、保険など); 多少ある(4段階中3段階の評価)。
- 7) 他人に役立てる仕事や役割があり、感謝されている; 僅かにある(4段階中2段階の評価)。

なお、各対象者の40・50歳代と現在の“生きがい”は以下の通りである(図1)。

対象 A

40・50歳代では「将来の希望」、「趣味・旅行の楽しみ」、「配偶者と一緒に元気」「仕事」、「子供・孫のこと」、「地域活動」は4点であった。しかし、現在は「子供のこと」、「孫のこと」の4点の高い項目を除いては、「将来への楽しみ」など他の全ての項目は1点と低かった。

なお、“生きがい”の総点は、40・50歳代では32点であるが、現在は22点に低下していた。

対象 B

40・50歳代では「将来の希望」、「仕事」、「子供のこと」、「地域活動」は4点であった。しかし、現在は「子供のこと」、「孫のこと」、「将来への希望」は3点で相対的に高いが、「趣味・旅行の楽しみ」など他の全ての項目は1点と低かった。

なお、“生きがい”の総点は、40・50歳代では32点であるが、現在は19点に低下していた。

対象 C

40・50歳代では「将来の希望」、「仕事」、「子供のこと」、「地域活動」は4点であった。しかし、現在は「子供のこと」、「孫のこと」は3点であるが、「将来への希望」など他の項目は1点と低かった。なお、「宗教」については記入されていなかった。

“生きがい”の総点は、40・50歳代では30点であるが、現在は18点に低下していた。

VI 総括

1. テレビ電話の映像は鮮明で、目・頬・口などの動きがよく分かり、また顔の表情が捉えられ気持ちも分かりやすく、直の面談とほとんど変わらないと評価された。
2. うつ調査では、対象とした独居老人は身体・精神面の項目は問題ないが、「将来の希望」、「物事の決断」、「現在の生活の満足感」、「役立つ人間」の項目において評価が低かった。
3. “生きがい”は、対象とした独居老人は40・50歳代では高いが、高齢となった現在では著しく低下していた。特に「将来の期待」や「家庭に関すること」において著明であった。
4. テレビ電話を普及するための最大の問題は経費面であるので、交通が不便な地域に住む身体障害者或いは独居の老人に対する国、自治体の補助を望んでいた。

本研究において、老人福祉施設をキー・ステーションとした多方向性のテレビ電話コミュニケーションが、独居老人のメンタルケアをおこなうのに有用であることを明らかにした。

今日わが国では核家族化が一段と進み独居老人が増えているのは交通の不便な過疎地域に限ったことではなく、都会においてもみられ、家族の絆が非常に希薄となってきている。このような高齢者が精神的に安心でき、メンタルケアをおこなう方法として、老人福祉、また別居する家族ともコミュニケーションできる多元的で多方向性のテレビ電話システムが普及することを期待する。

終わりに、本研究に御協力下さった栄村高齢者総合福祉センターの職員の方に厚くお礼申し上げます。

(参考資料1)

テレビ電話上の行動・表情の評価 (直接対話中、施設職員による)

| 評価項目 | 評価段階 (スコア) | | | |
|------------------------------|------------|--------|-------|------|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 顔の表情 | | | | |
| ① 笑顔が見られる。 | 10回以上 | 3～9回 | 1～2回 | 0回 |
| ② 不安な表情がある (眉をひそめる、考え込む)。 | 10回以上 | 3～9回 | 1～2回 | 0回 |
| | (1) | (2) | (3) | (4) |
| ③ 総体的 | 温和 | 普通 | 多少険しい | 険しい |
| 会話行動 | | | | |
| ① 楽しく話す (張りのある声で)。 | 50%以上 | 10～50% | 10% | 0% |
| ② 話がとぎれる (沈黙が多い、電話を切る)。 | よくある | 時々 | たまに | 殆どない |
| | (1) | (2) | (3) | (4) |
| ③ 総体的コミュニケーション | よい | 普通 | 多少悪い | 悪い |
| その他の身体行動 | | | | |
| ① 落ち着かず、もじもじする。 | なし | 少し | 中程度 | 非常に |
| ② 身体がだるそうである (精気がない、息遣いが荒い)。 | なし | 少し | 中程度 | 非常に |
| | (見られない) | | | |

本人が掛けた回数/日

心配・不安なこと、喜び・楽しいこと (あれば、備考欄に記入)

心配・不安なことの解消度 (前(日)にあったことが、当日になって良くなっているか、備考欄に記入)

特記すべきこと (備考欄に記入)

(参考資料 2)

調査 I (クライアントの方が回答ください)

1. 施設のテレビ電話の対応者に気軽に相談し、また話すことができた。
(はい、どちらとも言えない、いいえ)
2. 施設のテレビ電話の対応者に話しにくいことがありましたか。
 - 1) (全くない、あったが話しださなかった、全く話さなかった)
 - 2) それは何ですか。
(体調のこと、心配事(生活のこと、家族のこと、生活環境(建物の安全性、その他))……複数回答してもよい)
 - 3) 特に何を話しましたか。
(体調のこと、心配事(生活のこと、家族のこと、生活環境(建物の安全性など)、社会の出来事、天候・気候、地域の行事・祭り、宗教、その他)……複数回答してもよい)
3. テレビ電話で友達と話すことは、どんなことですか。
 - 1) (困ったこと、楽しかったこと、その他)……複数回答してもよい。
 - 2) その事項は、
(打ち合わせ、社会の出来事、天候・気候、家族のこと、その他)……複数回答してもよい。
4. テレビ電話を使って話してみたい人は、
遠くにおり、会うことがない(子供、孫、親類、友達、その他)……複数回答してもよい。
5. テレビ電話について、望むことがあれば、下記の項目に○印をしてください。
 - ① 操作がもう少し簡単であればよい。
 - ② 画面が小さく、見にくい。
 - ③ 映りがはっきりしない。
 - ④ もち運びができ、何時でも、何処からでもかけられればよい。(即ち、モバイル(携帯式))
 - ⑤ 一般のテレビのように、広く背景(バック)までも映るとよい。
 - ⑥ その他()
6. 今の健康状態であれば、週1回のデイサービスはテレビ電話でもよいか。(但し、テレビ電話の設置などの全ての経費は無料であるとする時)
 - 1) (テレビ電話でよい、施設に行きたい、どちらでもよい)
 - 2) テレビ電話でよいと回答した人は、その理由を答えてください。
(歩かなくてもよいから、疲れないから、時間を有効に使えるから)
 - 3) 週2回デイサービスであれば、そのうちの1回はテレビ電話でよいか。
(よい、2回ともデイサービスがよい、どちらでもよい)

調査Ⅱ(テレビ電話に対する総合的評価……施設の対応者(福祉士)による)

1. テレビ電話に対する評価について、

()内の該当するものに○印をしてください。

1) 対応者自身、テレビ電話に映ることについて

- (1) 映るのが嫌であることは、(よくある、時々ある、全くない)
 (2) 映るのが嫌であるのはどういう時か、(体調が悪い時、忙しい時、いつも)

2) 映像は、(非常に鮮明、鮮明、やや不鮮明、不鮮明)

3) 映像の動きは、(スムーズである、ややぎこちない、全くでない)

4) 表情、会話、他の身体行動の分析について

一般のテレビと比較して

- (1) 表情は、目、頬、口の動きは、(分かる、分かりにくい、分からない)
 (2) 会話は、(音声がとぎれる、普段と変わらない、聞き取りにくい)
 (3) 他の身体行動は、(よく分かる、分かる、やや分かりにくい、分からない)

5) 利便性について

- (1) 病気もちの人の体調・健康状態を聞き、ケアするのに、(非常によい、よい、役に立たない)
 (2) メンタル・ケアをするのに、(非常によい、よい、役に立たない)
 (3) 体調の悪い人(要介護2及びそれ以上)あるいは時には施設からかける適当な回数は、
 (毎日一回、朝夕二回、一日おき週二回)
 (4) 電話機の移動範囲は2～3mであるが、(十分である、やや不足、全く不足)

6) 経費について

- (1) TV電話本体(15万円)は、(高い、手ごろである、安い)
 (2) 敷設費(8,000円)は、(高い、手ごろである、安い)
 (3) 毎月の維持費(有線……ADSL線)……月3,000円(一人当たり)は、
 (高い、手ごろである、安い)
 (4) 経費が総合的に、(高い、やや高い、適当である、安い)

7) 利用状況

(1) 施設間において

- ① クライアントから掛けてくること(一人が)は、
 (0回/週、1～2回、3～5回、5～10回、10回以上)
 ② 相談事は、(体調のこと、生活のこと、その他())

(2) クライアント同士間において

- ① かける回数(一人が)は、
 (0回/週、1～2回、3～5回、5～10回、10回以上)
 ② 話題については、
 (体調のこと、生活のこと、家族のこと、友達のこと、社会の出来事、趣味、旅行、
 その他())

8) その他

- (1) 直の面談と比較して、（殆ど変わらない、間接的であり話しやすい、間接的であり話し難い）
- (2) 普通の電話と比較して、（身体の状況が分かり易い、表情で気持ちが分かり易い、特に差はない）
- (3) テレビ電話が利用できる地域、高齢者については、下記のことが考えられますが、
 - ① 過疎地（無医村の離島、農山村、都会の中）
 - ② 気候の厳しい地方（豪雪地帯、厳寒の地方、台風の多い地帯）
 - ③ メンタル・ケアの必要な高齢者
 - ④ 身体障害者（施設に週1回通所の困難な高齢者）
 - ⑤ 独居老人、老々夫婦
 - ⑥ その他（ライフラインが確立していない地域など）

他にあれば挙げてください。

（
）

(4) テレビ電話が、(3)に挙げた地域や高齢者に普及するためには、何が重要となるか、下記の事項か記述ください。

- ① 経費（国・自治体の補助、パソコンを利用する方法）
- ② 専門的なメンタル・カウンセラーの配置
- ③ 映像の分析（鮮明性、評価基準、記録上の煩雑など）
- ④ 操作上の問題（煩雑である、手の届く範囲でないといけない、携帯 TV 電話がないといけない等）
- ⑤ その他（特に挙げて、記載ください）

以上項目について、重要な（問題となる）順に番号を（ ）内に記入し、また『コメント』してください。

1位（ ）

【コメント】

2位（ ）

【コメント】

3位（ ）

【コメント】

4位（ ）

【コメント】

5位（ ）

【コメント】

調査Ⅲ……福祉による記載

1. クライアント3人について対応者の評価、
 - 1) クライアントAについて
 - (1) 映るのを嫌がっている。
(よくある、 時にある、 殆どない)
 - (2) どういう時に映るのを嫌がっているか。
(体調が悪い時、 体調と関係なくいつも、 なにか用事がある時)
 - (3) 社会性(対応の状態)は、
(高まった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)
 - (4) 電話を掛けたときの表情(明るさ)は、
(非常によくなった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)
 - 2) クライアントBについて
 - (1) 映るのを嫌がっている。
(よくある、 時にある、 殆どない)
 - (2) どういう時に映るのを嫌がっているか。
(体調が悪い時、 体調と関係なくいつも、 なにか用事がある時)
 - (3) 社会性(対応の状態)は、
(高まった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)
 - (4) 電話を掛けたときの表情(明るさ)は、
(非常によくなった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)
 - 3) クライアントCについて
 - (1) 映るのを嫌がっている。
(よくある、 時にある、 殆どない)
 - (2) どういう時に映るのを嫌がっているか。
(体調が悪い時、 体調と関係なくいつも、 なにか用事がある時)
 - (3) 社会性(対応の状態)は、
(高まった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)
 - (4) 電話を掛けたときの表情(明るさ)は、
(非常によくなった、 ややよくなった、 変わらない、 悪くなった)

(参考資料3)

長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

氏名 _____ 施行日 ____年__月__日 施行者名 _____
 生年月日 M・T・S ____年__月__日 年齢 ____歳 男・女 _____ 施行場所 _____
 備考 (教育年数: ____年) _____

| | 質 問 内 容 | 配 点 | |
|---------|--|----------|-----|
| 1 | お歳はいくつですか？ (2年までの誤差は正解) | 0 1 | |
| 2 | 今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？ (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ) | 年 | 0 1 |
| | | 月 | 0 1 |
| | | 日 | 0 1 |
| | | 曜日 | 0 1 |
| 3 | 私達が今いるところはどこですか？ (自発的に出れば2点、5秒おいて、家ですか？病院ですか？施設ですか？の中から正しい選択をすれば1点) | 0 1 2 | |
| 4 | これから言う三つの言葉を言ってみてください。 あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか一つで、採用した系列に○印をつけておく) 1 : a) 桜 b) ネコ c) 電車 2 : a) 梅 b) 犬 c) 自動車 | 0 1 | |
| | | 0 1 | |
| | | 0 1 | |
| 5 | 100から7を順番に引いてください。 (100-7は？ それからまた7を引くと？ と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る) | (93) 0 1 | |
| | | (86) 0 1 | |
| 6 | 私がこれから言う数字を逆から言ってください。 (6-8-2、3-5-2-9) (3桁逆唱に失敗したら打ち切る) | 286 0 1 | |
| | | 9253 0 1 | |
| 7 | 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば2点、もし回答がない場合、以下のヒントを与え正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物 | a 0 1 2 | |
| | | b 0 1 2 | |
| | | c 0 1 2 | |
| 8 | これから五つの品物を見せます。それを隠しますので何があったか言ってください。 (時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの) | 0 1 2 | |
| | | 3 4 5 | |
| 9 | 知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。 (答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 5個までは0点、6個=1点、7個=2点、8個=3点、 9個=4点、10個=5点 | 0 1 2 | |
| | | 3 4 5 | |
| | | | |
| | | | |
| 合 計 得 点 | | 23 | |

満 点 : 30

カットオフポイント : 20/21 (20以下は痴呆の疑いあり)

(参考資料4)

ソングの評価法

| | な し | ときに | しばしば | 常に |
|---------------------------------|-----|------|------|-----|
| 1. 気分が沈んで、ゆううつだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 些細なことで泣いたり、泣きたくなる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 夜、よく眠れない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 最近やせてきた | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 便秘している | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. ふだんより動悸がする (胸がドキドキする) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 何となくつかれやすい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. おちつかず、じっとしてられない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. いつもよりイライラする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 自分で死んだ方が、他の人は楽にらせると思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| | | | | |
| | 常に | しばしば | ときに | な し |
| 11. 朝方一番気分がいい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. 食欲はふつうにある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13. 異性の友人とつき合ってみたい (茶のみ友だちがほしい) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14. 気持はいつもさっぱりしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 15. いつもと変わりなく仕事 (身のまわりの事) ができる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16. 将来に希望 (たのしみ) がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 17. まよわずに物事をきめることができる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 18. 役に立つ人間だと思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 19. 今の生活は充実していると思う (今の生活に張りがある) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 20. 今の生活に満足している | 1 | 2 | 3 | 4 |

(参考資料 5)

“生きがい” 調査

【現在の基礎条件】

- 1) 家族……配偶者がいる。 (はい、 いいえ)
- 2) 健康 (心身ともに) である。 (全くそうである、ほぼそうである、病気がちである、治療中)
- 3) 経済的な不安について (年金、保険を含む)。 (全くない、多少ある、かなりある、大いにある)
- 4) 趣味や打ち込めるライフワーク (ボランティア活動) がある。 (はい、 いいえ)
- 5) 他人の役に立てる仕事や役割があり、感謝されている。
(非常にされている、大体されている、僅かにされている、全くされていない)
- 6) 安住できる住宅がある。 (はい、 いいえ)
- 7) 心から理解しあえる相手がいる。 (はい、 いいえ)
- 8) 確かな頼れる人がいる (世話する)。 (はい、 いいえ)

【現在、持っている生きがい】

| | 評価段階 (スコア) | | | |
|--|---------------------|--------------------|---------------------|-------------|
| | (4) 大いにそ うである | (3) 大体そ うである | (2) 僅かにそ うである | (1) 全くない |
| 1) 将来にも希望 (楽しみ) を持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 趣味・旅行に楽しみ (希望) がある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 仕事に希望 (楽しみ) を持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 家族 (配偶者) と一緒に元気であることに希望 (楽しみ) を 持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 子供のことに希望 (楽しみ) を持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 孫のこと (成長、学業など) に希望 (楽しみ) を持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) 地域の活動 (自治会、組合など) に楽しみがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) 老人ホーム等でのボランティア活動に楽しみがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) 宗教のことに楽しみがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

10) その順位は、

第1位 ()

第2位 ()

第3位 ()

【振り返って、40・50歳代では何に生きがいを持っていましたか】

| | (4) | (3) | (2) | (1) |
|--------------------------------------|-----|-----|-----|-----|
| 1) 将来に、希望（楽しみ）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 趣味・旅行に楽しみ（希望）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 仕事に希望（楽しみ）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 家族（配偶者）と一緒に元気であることに希望（楽しみ）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 子供のことに希望（楽しみ）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 孫のこと（成長、学業など）に希望（楽しみ）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) 地域の活動（自治会、組合など）に楽しみ（希望）を持っていた。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) 老人ホーム等でのボランティア活動に楽しみがあった。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) 宗教のことに楽しみがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

10) その順位は、

第1位 ()

第2位 ()

第3位 ()